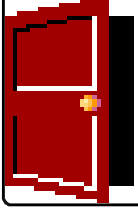


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No.92

桑村小学校令和6年2月8日 文責 渡邊

温かなメッセージをありがとう!!

双方向的な関係性をこれからも大切にしていきたいです

令和6年1月31日(水)発行の読書通信No.87についてのメッセージを保護者からいただきました。とても温かな内容に心が熱くなりました。

『読書活動の扉を開く』1月31日号を読んだ感想

桑村小学校の児童たちが「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」で団体賞を受賞されたこと、心からお祝い申し上げます。素晴らしい快挙ですね!! また、先日は図書カードをありがとうございました。本屋さんで何の本を買うか、今からとても楽しみです。

子どもが読書推せん文を書くことで、本を読むことの楽しさや意味を深く理解できたように感じます。また、自分の感動を伝える相手を考えることで、文章に説得力や工夫が生まれました。読書推せん文を書くことは、子どもの表現力や思考力を高める素晴らしい活動だと思います。

校長先生をはじめとする教員の方々の、読書活動への熱心な取り組みに感謝いたします。子どもたちが読書の魅力に触れ、豊かな感性を育んでいくことを応援しています。これからも、桑村小学校の活躍を応援しています!

また、最後になりますが、子どもたちがなかなか校長先生と本の感想を話すことができないようです。恥ずかしいと言っていました。校長先生になんの本を買ったか、どこがいいのかお話してくるよう言っても、なかなか行きづらいようです。何かいいきっかけはないでしょうか? (6年生 保護者より)

メッセージを送ってくださりありがとうございます。とても嬉しく思いました。桑村小学校の子供たちは、読書活動に励み、そうした体験を表現することで豊かな「感性」が育まれていることを実感しています。

このことについては、学校の教育活動だけではその達成がなかなか難しいところがあります。家庭や学校応援団(地域社会)等の理解と連携のもと、協働で取り組むことが大きな成果につながるものと思われま。

読書通信『読書活動への扉を開く』では、読書通信を通して学校の取組を広く紹介し、それについての意見や感想を寄せていただくことで、双方向的な関係性を構築し、協働で読書活動に取り組んでいく体制を築いてきました。昨年までの紙に印刷したお便りからHP上での発信に変えたことで大きなご不便をお掛けしたことと思います。そうした中、学校へ貴重な声を届けてくださることに深く感謝いたします。

2月6日(火)に、本校では「令和6年度入学生 説明会」を開催し、学校応援団の鈴木さんを講師に「親学講座」を開催しました。そのとき、鈴木さんから学校と家庭、地域社会の連携の大切さについての話がありました。学校と家庭、地域社会が別々な方向に向くのではなく、同じ方向を向いて取り組むと大きな力になるというものです。これからも読書体験と表現活動をつなげて豊かな「感性」の育成に協働で取り組んでいきたいと考えます。どうかよろしく願います。

さて、最後に書かれている校長との読書についての対話ですが、とても嬉しく思いました。まだまだ校長室の敷居が高く

感じられていることは校長として反省しなければなりません。桑っ子のみんなが自然に入って来られるような校長室にしていきたいと思ひます。そのために、全校放送で校長から「楽しくお話ししましょう!」と呼び掛けるところから始めたいと思ひます。(実は、全校で読書の楽しさをテーマに、校長がコーディネーターとなり、パネリストに子供代表や図書館司書をおき、シンポジウムの開催を企画したのですが、今年度は創立150周年の記念式典があり実現できませんでした)いつの日か実現できたら素敵ですね!



【親学講座より】

